

令和5年度第2回全国健康保険協会秋田支部評議会議事録

開催日時：令和5年10月18日（水）10：00～11：40

開催場所：パーティーギャラリーイヤタカ 4階 ジョージアンホール WEST

出席者：松渕評議員（議長）、佐野評議員、柳田評議員、小林評議員

佐々木（卓）評議員、畠山評議員、栗盛評議員、近藤評議員（代表別・50音順）

加藤支部長、河上部長、千葉部長、青木グループ長、二田グループ長、

今野グループ長、園部グループ長、吉田グループ長補佐、澤口主任、小池スタッフ

鈴木スタッフ（記）

議事録署名人：佐々木（卓）評議員、柳田評議員（50音順）

1. 令和6年度平均保険料率に関する論点について

資料1、1-2に基づき事務局から説明。

○ 質疑応答、意見交換等

〔論点1〕平均保険料率

【被保険者代表】

平均保険料率10%は事業主や被保険者の負担の限界水準であり、10%維持は妥当と考える。

【事業主代表】

平均保険料率10%維持でよい。保険料率が急激に変化することは避け、一定の水準を中長期的に保てるよう安定した財政運営を行っていただきたい。

【被保険者代表】

今後の財政状況に関するシミュレーションのなかで、平均保険料率10%を維持した場合であっても数年後には準備金を取り崩さなければならないことや、今後の後期高齢者支援金の増加を鑑みると、平均保険料率10%維持は妥当である。中長期的に平均保険料率10%を維持していただきたい。

【事業主代表】

平均保険料率10%は限界水準であり、事業主の立場としては急激な保険料率の変化ではなく、安定した財政運営を行っていただくことが重要と考える。平均保険料率10%維持でよい。

また、今年の春に賃上げが行われたが、来年以降も賃金上昇の傾向が続くのか見定める必要があるため、シミュレーションについては今後も議論する必要があると思われる。

【被保険者代表】

中長期的な視点から平均保険料率10%維持はやむをえないと考える。

【学識経験者】

事業主や被保険者の負担の限界水準を超えないよう、平均保険料率 10%維持に努めていただきたい。

【学識経験者】

平均保険料率 10%は事業主及び被保険者の限界水準であり、中長期的に維持していただきたいということによいか。

【評議員一同】

異議なし。

〔論点 2〕 保険料率の変更時期

【学識経験者】

保険料率の変更時期は、これまで通り令和 6 年 4 月納付分（3 月分）ということによろしいか。

【評議員一同】

異議なし。

2. 令和 6 年度秋田支部事業計画及び保険者機能強化予算策定に向けた意見交換について

資料 2、3 に基づき事務局から説明。

○ 質疑応答、意見交換等

【学識経験者】

検診車による集合健診は加入者が集まりやすい会場で実施する等工夫しており、健診受診者の増加につながるよい取り組みだと思う。

県外の健診機関が参入し、バス健診を行っているとのことだが、県内の健診機関でバス健診を実施しているのは 1 事業者のみか伺いたい。

【事務局】

秋田県内では健診機関 2 先でバス検診を実施し、県内をカバーしている状況である、

【学識経験者】

健診実施枠拡大のため、今後も県内外の健診機関へアプローチしていただきたい。

【学識経験者】

秋田支部における令和 5 年度の健診実施機関数は 48 機関と示されているが、他支部と比較すると多いのか。

【事務局】

秋田支部は他支部と比べると健診実施機関数は少ない状況である。

【学識経験者】

秋田支部の健診実施機関数は年々増加と示されている一方、生活習慣病予防健診にかかるアンケート

結果では「予約しようとしても希望月は埋まっており、健診を受けられる病院も少なくなったように感じる」といった意見があり相違しているように思える。

健診案内の発送時期を伺いたい。

【事務局】

健診案内は全支部統一で3月中旬頃に発送している。

健診申込者の一覧データは協会けんぽで実施している「情報提供サービス」を利用することで2月中旬頃からダウンロード可能であり、広報についても1月中旬から行っている。

また、アンケート結果の「希望月は埋まっており、健診を受けられる病院も少なくなったように感じる」といったご意見について、同様の悩みを抱えた加入者様から支部へお問い合わせいただくことがある。その際は予約可能な別の健診機関をご紹介するなど対応しており、現状としてお問い合わせいただいた加入者様にはご理解いただけている。

【学識経験者】

市から届く特定健診の案内には多数の医療機関が掲載されているが、そのような医療機関にアプローチすることはできないのか。

【事務局】

特定健診と生活習慣病予防健診では検査項目が異なっている。生活習慣病予防健診は、胃がんや大腸がんなどの検査項目が含まれており、一步踏み込んだ健診を行うため、胃カメラや胃透視を行える医療機関でないと契約を結ぶことはできない。

そのため、秋田市内の胃カメラや胃透視が可能な医療機関にアプローチし、健診枠拡大に努めている。

【学識経験者】

「健診の受け入れ枠がないから健診を受けない」といった言い訳とならないよう、今後も健診枠拡大に向けてご尽力いただきたい。

【被保険者代表】

減塩啓発事業の塩分摂取量調査に当事業所も参加した。アンケート提出後、カップ麺の汁を固める凝固剤を提供いただき、事業所内にて配付したところ興味を示す従業員が多かった。小さなことではあるが、減塩啓発につながったように思える。

【被保険者代表】

当事業所も塩分摂取量調査に参加した。当事業所が回答した塩分摂取量アンケートでは、どの年代の従業員も塩分摂取量が多く驚いた。やはり、昼食にカップ麺やコンビニご飯などを食べる従業員が多く、このような生活習慣を続けると塩分摂取量は多くなってしまふ。こういった点からも若い頃から正しい食生活を習慣化させることが大切と考える。

【被保険者代表】

当事業所でも塩分摂取量調査に参加したが、自分の塩分摂取量を把握し食生活を見直す良い機会となった。今年度は一部の事業所での実施とのことだが、対象を拡大して実施することでより減塩啓発につながるのではないかと。

【事業主代表】

全体的にデータ分析し、課題を明らかにしたうえで事業に取り組みされており、昨年度の評議会で挙げられた意見も今年度の新規事業に反映されている。今後もターゲットを絞って事業を進めていただきたい。

今後、血圧リスク保有者減少のため、減塩啓発だけでなく余分に摂取した塩分を排出する働きをもつカリウム摂取の啓発も行っていただきたい。

【事業主代表】

民放各局が健康や医療に関する番組を放送していることから、協会けんぽで健康テーマを設定し、テレビ局で取り上げてもらうよう交渉してみるのもよいのでは。資料の中で、健康に関する情報の入手方法としてテレビやラジオと回答する割合が高いことが示されていることから、効果的と考える。

従業員が一定以上いる事業所は、従業員やその家族の健康に対して意識が高く具体的な行動をとっている。一方、従業員が5人前後の小規模な事業所は、健康に対して関心が低い印象である。商工会や商工会議所では経営指導員が各事業所を巡回しているため、事業所として従業員やその家族の心身の健康を維持することは重要な経営課題であることを巡回時の指導内容に組み込み、事業所の意識の啓発を図ることが必要と考える。商工会連合会等と連携することで、事業所に対して健康意識向上に向けた働きかけを強化できるのではないかと。

【学識経験者】

良い意見が挙げられたと思う。

全体を通して、秋田支部が抱える課題は単年度で解決するようなものではない。地道に根気強く取り組む必要がある。今回挙げられた意見を踏まえて事業計画を策定していただきたい。

■次回評議会の開催 令和6年1月開催予定